

## 青年部定期総会・スプリング・セミナー

6月8日(土)～9日(日)にホテルニューカーリーナで59人(本部4人含む)の参加で開催しました。定期総会では、人事異動や採用試験、職場内での協力体制などについて、多くの質問・意見が出されました。休憩時間の雑談の中でも、職場実態や仕事内容などについて活発な意見交換が行われるなど、青年部のパワーを感じた総会でした。活動方針等については、本部提案のとおり承認されました。引き続きスプリング・セミナー開催となりました。スプリング・セミナーは、未加入の新採用者や臨採者にも参加を呼びかけており、組合活動を理解してもらうきっかけとなっています。松本青年部長から、「賃金・諸権利学習会」として、気になってはいるけれど普段なかなか聞く機会のない、給料や手当の話、休暇制度などについて説明がありまし

た。参加者からは、「昇給やボーナスをチェックして下さいといわれている意味が理解できた。」「眼鏡の補助が出ているのを初めて知った。今後請求したい。大変助かる。」「子育てをしているので、看護休暇の拡大に期待したい。」などの感想が寄せられました。その後は懇親会となり、多いに交流を深めた有意義な会となりました。



## 第51回船舶乗組員大会

6月10日(月)宮古市で、りあす丸、海翔の船舶乗組員15人と、高現組・高教組本部から3人が、参加して開催されました。海に出て、子どもたちの安全を最優先に実習を行う乗組員のみなさんから、次のような要望が出されました。

- ・りあす丸の耐用年数は老朽化が著しい。代船建造を何度も要求しているが、予算の関係で実現しない。代船建造には3年ほどかかり、その頃には幹部職員が退職してしまう。
- ・船舶職員を募集しても、なかなか応募者が来ない。民間との給与差が大きい。
- ・年2回修繕ドッグに入るが、予算の関係で満足のいく修繕は難しい。生徒たちの実習に支障がでてくるようでは困る。
- ・藤原埠頭のF-6をりあす丸が、F-5を海翔が

優先的に使えるようになってよかった。

- ・埠頭のゲート開放については、緊急事態に対応できるか不安が残る。

今後、学校と協力しながら、県との交渉をすすめていきます。

